

交流の場ビオトープ
東山いきいき市民活動センター中庭ビオトープ
活動報告

【実施日時】

令和4年7月10日（日）午前10時15分～11時45分（1時間30分）

【参加者】

佐伯・井手・走りの3名（敬称略）

【実施内容】

- ・前日は午後からスコールのような雨が降ったり止んだりした天気でしたが当日は雨も上がり、開始時は曇天で照りつける日差しを避けることができましたが、この時期特有のまとわりつくような湿気もあり、短時間で作業を行うべく、ビオトープ内の草刈りに専念しました。
- ・主にビオトープ中央から西側を中心に、中庭内の休憩スペースへと溢れるように出ている雑草等の刈り取りとビオトープ内の通路の確保およびアンズ（杏）等の樹木の弱い剪定を実施。
- ・センター建物の外壁やビオトープ内に繁茂しだしたノアサガオ（野朝顔）の駆除も実施。



写真 1 草刈り作業前



写真 2 草刈り作業後

【植物観察】

- ・盆花として知られるミソハギ（禊菽）の花が咲き始め、キキョウ（桔梗）の花も咲いていました。ヤブカンゾウ（藪萱草）は咲き終わっていましたがまだ蕾があり、これからも数輪は咲いてくれることでしょう。オニユリ（鬼百合）も数輪だけ咲き始めていました。

- ・コムラサキ（小紫）も花が咲き続けていますが若い実ができてははじめ、これから秋が近づくとつれ色づき始めることと思います。キショウブ（黄菖蒲）の実が大きくなり、コガマ（小蒲）の穂が膨らみ始めていました。
- ・休憩スペースに敷き詰められたレンガの隙間に根を下ろしたヒメイワダレソウ（姫岩垂草）は邪魔になる箇所だけ除去し、一部はセンター玄関の花壇のグラウンドカバーとして移植してみました。5月の活動日にピオトープ内から移植したヤブラン（藪蘭）は完全に根付いたようです。



写真 3 ミソハギの花



写真 4 キキョウの花

【動物観察】

- ・梅雨が早く明け、この暑さのためかセミも羽化をとまどっているようで鳴き声は聞こえず、今回は中庭やピオトープ内で昆虫類を見つけることもほとんどなく、クモ（蜘蛛）の仲間（種名未同定）が数匹いた程度でした。
- ・池の水も確保できており、メダカもいきいきとした姿で泳いでいました。
- ・雨上がりの後という影響もあったのでしょうか、昨年同時期にはアシナガバチ（脚長蜂）の仲間の他に外来昆虫のタイワンタケクマバチ（台湾竹熊蜂）の姿を見かけましたが、今回は見かけることはありませんでした。
- ・ピオトープ（中庭）ではありませんが、センター玄関の花壇でシジミチョウ（小灰蝶）の仲間であるヤマトシジミ（大和小灰蝶）と思われるチョウが一頭飛んでいたのを観察できました。

以上

（文責・走り）